



3月24日(火)

あなたは誰の声を聞いていますか

聖書朗読 列王記 第一 12:1~11

しかし、彼はこの長老たちの与えた助言を退け、彼とともに育ち、彼に仕えている若者たちに相談して、  
I 列王記 12:8

数年前、夫と私はシチリア島で休暇を過ごしていました。レンタカーを借り、その地方の様々な場所を巡る楽しい旅をしていました。ある日、いつものように目的地をナビに入力しました。アプリの音声が自信たっぷりに高速道路を降りて田舎道へ曲がるよう指示したとき、夫は少し疑いました。しかし私たちは会話を楽しんでおり、そのまま指示に従うことにしました。

やがて舗装道路は未舗装の道に変わり、進むごとにますます起伏が多くなりました。ついには、ナビでは道が続いていると表示されているのに、道は田舎の真ん中で突然行き止まりになってしまいました。ナビの音声はとても信頼できそうに聞こえましたが、私たちを通れない道へ導いたのです。

私たちが信頼していた車のナビは、私たちを目的地に到着させることはできませんでした。私たちの人生において、私たちを目的地に導いて下さるお方は誰でしょうか。私たちが誰の声に耳を傾けるかは本当に重要です。私たちは毎日、自信に満ち、一見善意にあふれた様々な声に囲まれ、様々な道を勧められています。しかし、私たちが第一に耳を傾けるのは、まず御言葉でなければなりません。聖書を読むことに時間を費やすことが不可欠なのです。そうすれば、天の目的地へ至る唯一の真の道を見分け従うことができます。

讃美歌 501 生命のみことば

祈り 聖なる主よ、あなたのもとへ帰る旅路において、あなたの御言葉、そしてあなたの御言葉に従う人々の声だけを信頼するようにと、私たちに思い起こさせてくださり、ありがとうございます。イエス様の御名によって。アーメン。

コロラド州 ロングモント / シール・ポーウェン



3月25日(水)

知識もなく、摂理をおおい隠す

聖書朗読 ヨブ記 38:1~4、40:3~5、42:1~6

なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。

I コリント 1:25

主は仰せられました。『知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。』そして、ヨブは答えました。『まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。』

創造と神様の知恵についての神様の問いかけ(ヨブ 38~41章)の後、ヨブの答えは42章5~6節へと続きます。『私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔いています。』

私たちは神様や、神様がどのように行動されるかについて多くの考えを持っているかもしれませんが。そして友人たちの多くもそれに同意するかもしれませんが。しかし、本当に神様を見て、その御業を理解し始めるとき、神様こそが私たちの誉れと賛美を受けるにふさわしいお方であると悟ります。本当に自分の目で神様を見ると、私たちはヨブのように、神様の前にへりくだり、自分の高慢を悔い改めるのです。

讃美歌 124 みくにもも 宝座をも

祈り 主よ、あなたが宇宙とその中のすべてのものを造られ、理解しておられることを私たちは知っています。どうかあなたの前にへりくだり、あなたの義の道を歩むことができるよう助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。

アーカンソー州 フェイヤットビル / L スコット・ゲイジ



3月26日(木)

## どうして、なんで？

聖書朗読 ヨブ記 42:1~6

ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。 ヤコブ 1:21

ほとんどの幼児は、はっきりとした“なぜなぜ期”を通過します。テレビを消す時間だと言われたり、もっと野菜を食べるように言われたり、外へ出る前に上着を着なさいと言われたりすると、すぐに返ってくる言葉は「どうして？」です。さらに「どうしてシマウマには縞があるの？」「どうして雨が降るの？」といった質問を受けることも親は覚悟しなければなりません。後から思えば微笑ましいものですが、その時は絶え間ない質問はとても疲れるものです。

神の子どもである私たちも、多くの疑問を抱くことがあります。なぜ神様はこのような事が私に起きることを許されたのか。なぜ世界はこのようなのか。なぜ神様はすべてのことをもっと明確にしてくださらないのか。

私たちは神様の御言葉を学び、知識と理解において成長する必要があります。しかしそれは、すべての質問が自分の望む時期に、あるいは生きている間にさえ答えられるという意味ではありません。ヨブから学ぶように、すべての質問に答えが得られないからといって、信頼が揺らいだり、献身が欠けたりする理由にはなりません。激しい苦しみの中にあっても、ヨブは神様に背を向ける誘惑に抵抗しました。

私たちには力強く、愛に満ちた神様がおられます。不確かな時期にあっても、私たちの岩であり救い主である神様に真実で忠実であり続けましょう。

聖歌 500 みことばなる ひかりのうち

祈り 神様、あなたとあなたの御子を日々ますます知ることを求めさせてください。豊かで永遠のいのちの答えを持っておられるのはあなただけであるという確信をもって。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ケビン B・レイチェル

3月27日(金)

## イエスは私の避け所

聖書朗読 詩篇 4篇

平安のうちに私は身を横たえ、すぐ、眠りにつきます。主よ。あなただけが、私を安らかに住まわせてくださいます。 詩篇 4:8

私たちは東アフリカのケニアのある村の外に住んでいました。ある夜、村から聞こえる低い太鼓の音で眠れませんでした。村人たちは悪霊が自分たちを脅かしていると信じ、太鼓はその霊を追い払うために打たれていました。

眠れなかったので、私は走りに出ようと起き上がりました。夜警のカリンディは私が門を開けようとしてガチャガチャしているのを見て、門の錠を開けることを拒みました。彼は「外に出るのは危険すぎます！ 悪霊が！」と言いました。彼は敷地内は安全だと信じていましたが、門の外は不吉だと考えていました。

私はカリンディに言いました。「私の避け所は、この敷地ではなく、イエス様です！」私は自分の安全をイエス様に信頼する必要があると分かっており、いつか彼もその信仰を持つよう願っていました。私は暗闇の中へ走り出し、すぐに転んでしまいました！ カリンディはとても怖がって、助けに来ませんでした。しかし私は立ち上がり、擦りむいた膝のまま暗闇を走り続けました。

カリンディは私が戻ってきたのを見て安心しました。そして後に彼はキリストを信じ、クリスチャンになったのです！ どんな状況でもキリストを避け所として信頼することは、言葉以上に主の物語を語ります。

聖歌 541 みなささげまつり

祈り 父よ、あの時もあなたを信頼し、今も信頼しています。暗く恐ろしい時に、私の避け所でいてください。イエス様の御名によって。アーメン。



テキサス州 ラボック / レベッカ H・タリー

3月28日(土)

## 信仰は不可欠

聖書朗読 詩篇 19篇

天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。 詩篇 19:1

晴れた夜に星を見上げて、自分がとても小さく感じながらも、深い畏敬の念に打たれたことはありませんか。それは偶然ではありません。天は私たちが神様に思いを馳せるように造られているのです。創造主を信じないことがどうしてできるのでしょうか。宇宙そのものが神様の存在を宣言しています。地球が太陽系の中で完全な位置にあるのも偶然ではありません。神様が生命のために造られたのです。他の惑星は私たちの地球の軌道を保つのを助け、燃え尽きたり凍りついたりしないようにしてくれています。

さらに神様は、私たちをご自身のかたちとして創造され(創世記 1:26~27)、永遠のいのちの息を吹き込まれ(創世記 2:7)、私たちが神様と共に永遠に生きることを望んでおられます。そのために、ひとり子イエス様を与えてくださいました。銀河を描かれた神様は、イエス・キリストを通して私たちを贖われる神様でもあられます。すべての日の出、山、星は、もっと深く神様を信頼するよう私たちを招いています。

*神は創造物の中に宿り*

*あらゆる御業の中に不可分に存在しておられます*

— A・W・トウザー\*

(\*編注:アメリカ合衆国の牧師、説教者、編集者。1897-1963)

讚美歌 533 くしき主の光

祈り 主よ、あなたの創造物の中にあなたを見させてください。あなたが私たちと共に、そして私たちの内に生きておられることを知ることができますように。あなたを信じ、御子を信頼し、あなたの御心に従って生きることができるよう助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 ヘンダーソンビル / セラーズ・クレイン JR

3月29日(日)

## つかまえてね、パパ!

聖書朗読 詩篇 26篇

あなたの恵みが私の目の前にあり、私はあなたの真理のうちを歩み続けました。

詩篇 26:3

彼女はマットの上に立つと、「見ててね」と言います。そして自信たっぷりに頭と両腕を後ろに投げ出し、足を体の上に持ち上げて直立します。完璧な後方ウォークオーバー\*です>(\*編注:下図参照)8歳の彼女の顔に浮かぶ笑顔は1週間の練習の成果です。しかし、その1週間の間、彼女の言葉は「見てて」ではなく、「つかまえてね、パパ」でした。7日間、父親は彼女の腰を支え、空中で足を受け止めていました。彼女は父の確かな手と絶え間ない励ましに頼っていたのです。

詩篇26篇で、ダビデが神様の前に立つ確信を持てたのは、自分の完全さによるのではなく、神様の恵みと真理への確固たる信頼によるものでした。彼の潔白の宣言は、神様のご性質に根ざした心から流れ出ています。彼は自分がきよめられる必要があることを知っていました。自分の弱さを理解していました。それでも彼は、これまで誠実に自分を支えてくださった神様を信頼していました。

同じように、私たちも神様の愛に目を向けることで、人生の不確かさに立ち向かうことができます。道が不安定に感じられるときでさえ、神様の真理は私たちの足の下で確かな地面です。

讚美歌 286 かみは わがちから

祈り 主よ、あなたの恵みと変わらぬ真理を感謝します。あなたから目を離さず、ひと足ごとにあなたが共にいてくださることを確信して歩めますように。いかなる試練にも、あなたの愛が支えてくださることを知って、あなたにもっと深く信頼できるように教えてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 トンボール / ビル・ラスコー

